



写真左：筆者（一番左）、アーノルド・パーマー氏（右から2番目）
写真上：リー・トレビノ氏（一番左）、筆者（左から2番目）、
ジョージ・ブッシュ元大統領（右から3番目）、アーノルド・
パーマー氏（一番右）

アーノルド・パーマー 選手との思い出

ゴルファーとしての夢が 叶ったあの日の感激

私がゴルフを始めたのは、1968年で34歳の時であった。それ以来、健康と趣味を兼ねて続けているが、年齢とともにスコアの伸び悩みで悪戦苦闘している。ゴルファーとしての憧れは、マスターズが行われるオーガスタでプレーすることと、米国ツアーの有名なプロゴルファーとプレーすることだと思う。

私は幸いにして、2001年4月、GEのウェルチ会長（当時）と友人二人とオーガスタで二度プレーしたことがある。人生最大の喜びであった。また、有名プロゴルファーは、アーノルド・パーマー選手、セルヒオ・ガルシア選手、クレイグ・スタドラー選手、デービス・ラブⅢ世選手、ジム・フューリック選手

等と、プロアマでプレーしたことがあり、大変ラッキーだと思っている。その中で特に思い出になっているのが、アーノルド・パーマー選手と一緒にプレーした時である。パーマー選手と云えば、私がゴルフを始めた頃には世界のビッグスリーと云われたひとりで、ジャック・ニコラス選手、ゲーリー・プレーヤー選手とともに有名であった。一度でもよいからその中の選手と一緒にプレーしてみたいというのが、不可能とは知りながら強い願望であった。



野村 吉三郎
全日本空輸 最高顧問

レーヤー選手とともに有名であった。一度でもよいからその中の選手と一緒にプレーしてみたいというのが、不可能とは知りながら強い願望であった。

1992年、ブッシュ現大統領の父であるジョージ・ブッシュ大統領（当時）の後援会が、ヒューストンで慈善ゴルフ大会を開催したことがあった。仕事の関係で招待され、プロアマ大会でパーマー選手と一緒にプレーすることができた。その時の感激は今でも忘れられない。その上、ブッシュ大統領にその日の晩餐会に招かれ、一度に二回の感激を得た。その日の思い出の写真である。

その時感じたパーマー選手の印象は、スイングは独特なものであるが、非常に攻撃的なプレーをし、人柄は機知に富み、誠実で不遇にもめげず勇気のある選手であるということ。そのことから、PGAツアーで61勝をあげた偉大な選手であることを強く感じ取ることができた。

私の思い出写真館